

普段は裏堂に安座しておられる法然上人のお像を御忌会では、本堂のご本尊のお膝元に安置します。(H18.3.4、5日)



三月四、五日と法然上人の威徳を偲んで當山にて御忌会を勤めました。
 両日とも好天に恵まれ、墓地の雪もほとんど溶けました。
 また、寒かった昨年の御忌会に比べ多くの檀信徒の皆さまが本堂の法要やご布教に参列

水吹き地蔵祭りの御案内



〒 915-0823
 福井県越前市本町 10-2
 大寶寺
 TEL/FAX (0778) 22-1682



雪解けの後には昨年来の落ち葉がどっさり。(H18.3.4)

いただけたようです。
 さて、来る三月二十一日彼岸の中日に例年のごとく水吹き地蔵のお祭りを催します。
 三月といえ、春風と共に火災の多い時期です。水吹き地蔵さんにお詣りし、消防署の方の講話を聞いて防火意識

**春彼岸および
水吹き地蔵おまつり**

三月二十一日(火)

午前十時
彼岸法要

午後一時
水吹き地蔵法要

午後二時二十分
消防講話

午後一時
アニメ「孫悟空」

午後二時二十分
落語会

桂 文鹿 (かづらぶんろく)



地蔵そばを召し上がられ



嘉永5年(1852)の武生の大火の折り水を吹いてお堂の延焼を止めたと伝えられる水吹き地蔵尊。

を高め頂ければと思います。
 また、今年は余興として、「孫悟空」のアニメを二十分ほど上映したあと、松竹芸能所属の桂文鹿さんの落語をお楽しみ頂きます。
 お子様やお孫さん、また、ご近所の方やお友だちをお誘い合わせて、ご参詣いただきますよう御案内申し上げます。

大寶寺の垂れ桜



毎年3月下旬から4月上旬には境内の垂れ桜が満開になります。

夜はライトアップもしています。ぜひお越し下さい。



桂文鹿 (かづらぶんろく) 昭和44年奈良市生まれ 松竹芸能所属
 大谷大学文学部卒業、平成6年師匠、桂文福に入門「桂ちゃん好」として初高座。落語家と同時にプロボクシング選手として活躍、2戦2敗、あと一歩で世界チャンピオンには届かなかった。平成12年の試合を最後にプロボクサーを引退。以後落語家として専念。

トピックス

総代・世話人総会

二月十一日

定例の総代・世話人総会が三十名の参加を得て、大寶寺の庫裏にて開かれました。総会では平成十七年度の行事、会計などが報告され、承認を得ました。

また、本年四月より任職が交代すること、ならびに来年四月には晋山式(正式に住職であることを認めるための式)を執り行うことなどが決まりました。

本年度より大寶寺護持費、ならびに墓地管理費を御願いすることになっていきますが、各地区の役員の皆さまに御願いの文書を配布して頂いております。

三月七日現在、およそ三分の一の檀信徒の皆さまから、護持費ならびに、墓地管理費を頂いております。この場をお借りして御礼申し上げます。

境内地および墓地の樹木伐採

三月上旬、墓地のケヤキの枝落としを業者に御願いしました。また、町中の杉の木は質も劣り、



滝の住の白山の樹上
の御年 75 歳との見氏は御年 75 歳とのこと。 H18. 3. 3

強風で倒れるおそれがあり、また、杉の葉は始末がやかいかいであることから、境内の数本の杉の木の伐採も同時に御願いしました。このため墓地および境内が相当明るい感じになりました。

御忌会

三月四、五日

一面でご紹介しましたように三月四、五日の両日御忌会がいとなまれました。今回は、知恩院布教師で若狭高浜の浄国寺のご住職でもある佐野純雄上人のご布教を頂きました。



積雪が約 30cm ほどかかっていた。高浜は、何んか、

御案内

おてつき信行奉仕

おてつき信行奉仕の実施が知恩院の行事等の関係で、先に御案内した時期(5月下旬から6月上旬)の実施が不可能となりました。そこで、今年10月17日(火)の実施とさせていただきます。詳細は後日案内致しますのでよろしく御願致します。

大寶寺お講さんへのお誘い

1月、2月を除く毎月12日に大寶寺の庫裏にて、阿弥陀経や三尊札など浄土宗のお経を読む練習をしています。お経の本などはこちらで準備いたします。会費は無料です。参加ご希望の方は寺までお申し込み下さい。



ビデオや、お花見を楽しむお講のメンバーです。



水吹地蔵のお祭りのお手伝いのお願い

三月二十日の水吹き地蔵のお祭りの前日、お団子つくりとぜんざいの準備をすることになっていきます。またお祭り当日にも役員の昼食の準備が必要になります。今年は湯尾および武生五、六、七班の方にお手伝い御願いするということで役員の方に御願いしてございますが、その他の地区の方でもお手伝い頂ける方がおられましたら、ぜひ寺の方までご一報ください。

こだわり



トウランドの切ないメロディにのめった荒川選手の氷上の舞は早朝六時という時間帯にもかかわらず多くのTV視聴者に感動を与えた。普段、割と早起きの私もそのひとりであった。ところで、荒川選手はあるインタビューに「勝ち負けにこだわらなくても、自分のスケートにこだわることが勝因だと思います」と答えている。

「結果がすべて」「スポーツは強い者が勝つとは限らない、勝つた者が強いのだ(A紙)」「社説」、勝者だの、敗者だのと、勝ち負けにこだわる現代の風潮やマスコミの報道に、いささか辟易していたが、彼女の演技や発言には「いふんと爽やかさを感じた。」

とここで、最近「こだわる」という言葉をよく耳にする。「執着を捨てよ」と説く釈尊の教えによれば、このことはあまり勧められることではない。煩惱の雲に陰った人間のこだわりは往々にして人間を間違った方向に導くからだ。

例え、ライブドアを時価総額世界一の会社にするというホリエモンのこだわりは、「一時はたいそうもてはやされたが、決してほめられるべきものではなかった。おおよそ八百年ほど前、弟子が上皇の女官を出家させたことをとがめられ、法然上人は七十五歳という高齢で土佐(高知県)への流罪を宣告された。当時の交通事情を考えれば、まさに命懸けの旅である。しかし、上人は

浄土の再会なむぞ疑わん。田夫野人をすすめん事、季来の本意なり。すこぶる朝恩ともいへし。(省略部あり)

大意(流刑地で死ぬことになっても必ず浄土で再会できるのだ。地方の人々に念佛の教えを勧めることは年来の希望であった。朝廷がその機会を下さったことは有難いことだ。

と、弟子を諫められたことだ。勝つことへのこだわりを捨てて勝利の女神を呼び寄せた荒川選手のことばを耳にして、世俗的な執着を捨てて念佛の実践と流布に尽くされた法然上人は、人生のゴールドメダリストではないかと、ふと思った。

浄土宗 大寶寺
〒九一五-〇八三 福井県越前市本町十一
TEL / FAX 〇七七八(二二)一六八二
イロハニ